

第4学年 算数科学習指導略案

指導者 黒政 東彦

1. 単元名 角の大きさの表し方を調べよう

2. ねらい

- 角の大きさを、既習の長さやかさの場合と関連づけて比べようとする。（関心・意欲・態度）
- 角の大きさを比べるときに、長さや重さの場合と同じように、単位の大きさのいくつ分と数値化して考える。（数学的な考え方）
- 分度器を用いて角度をはかったり、角をかいだりすることができる。（表現・処理）
- 角の大きさを単位として「度（°）」が用いられることが理解する。
- 分度器を用いた角度のはかり方、角のかきかたを理解する。（知識・理解）

3. 本時の展開（3／9）

児童数 男子10名 女子13名 計23名

- ・分度器を用いた角度のはかり方を理解する。

学習活動	センター指導主事の支援
1. 本時の課題をつかむ（5分） 分度器で角度をはかるには、どのように に行えばいいでしょう	
2. 様々な角度をはかる ・角度を測る順番を確認する (学級担任・一斉) ・様々な角度をはかってみる (学級担任・センター指導主事) ・間違った問題のやり直し	(上、中位の子どもへの指導、支援をお願いします) ・書画カメラを用いて、分度器の使い方の確認 ・内容の定着を図る問題の出題とアドバイス ・発展的な内容の問題の出題とアドバイス
3. 総合教育センターの先生のお話を聞く ・学習を行って気付いた点など	
4. 学習を振り返る	

